

2014年3月19日

シンガポールのテクノロジーセンタおよび生産工場の拡張完了

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、住所:愛知県丹羽郡大口町、TEL:0587-95-1131)は、シンガポール現地法人 YAMAZAKI MAZAK SINGAPORE PTE LTD. のテクノロジーセンタおよび生産工場の拡張を完了し、3月19日に現地でオープニング式典を行います。シンガポール現地法人は、1988年に販売・サービスを行うサポート拠点として設立し、1992年にはテクノロジーセンタの開設と工作機械のツーリングの生産をスタートしました。1996年には工場を拡張して工作機械の本格的現地生産を開始し、東南アジアを中心として、日本、欧州、北南米などへ輸出してきました。今回の拡張の目的は、当社が他社に先駆けて進めてきたグローバル生産およびサポート体制拡充の一環として、テクノロジーセンタと生産工場を拡張することにより、東南アジア市場のお客様へさらに充実したサポートを提供するとともに、日本を含むアジア市場、北中南米、欧州など世界各国への工作機械輸出能力を増加させ、お客様への納期を短縮し、為替変動に柔軟に対応できる生産体制を構築することです。

テクノロジーセンタは、従来のシンガポールとマレーシアなどに加え、今回、インド、タイ、インドネシア、ヴェトナムを含めた東南アジア全域のサポート拠点を統括する「東南アジアテクノロジーセンタ」として名称を変更し新しく生まれ変わりました。従来の約4倍の延べ床面積4,300㎡に拡張したテクノロジーセンタ内には、大型機も展示できるように約4倍に拡張した1,300㎡のショールーム、最大96名を収容するオーデトリウム、トレーニングルーム、パーツセンタなどを備え、お客様へのサポート体制を大幅に拡充させました。

生産工場は、従来の小型旋盤と立形マシニングセンタの生産に加え、新たに昨年末から生産開始した省スペース・高生産性CNC旋盤のQUICK TURN PRIMOSシリーズの量産に対応した拡張で、生産能力が従来の月産80台から130台にアップします。

3月19日に開催したオープニング式典には、シンガポール通商産業大臣 MR. Teo Ser Luck、シンガポール経済開発庁、在シンガポール日本大使館などからの来賓に加え、東南アジア、日本からの来客約300名が参加しました。



拡張後の東南アジアテクノロジーセンタとシンガポール工場

お問合せ先：ヤマザキマザック株式会社 営業統括部 広報・販売企画課

TEL:0587-95-1144 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。

ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください。